

群馬県片品村議会

(事績1) 政策づくりと監視機能を十分に発揮している議会

(1) 議員の資質向上に向けた取り組み

片品村議会では、議員の資質向上に向けた取り組みとして、群馬県町村議会議長会及び利根郡町村議会議長会主催の議員研修等へ積極的に参加しているところである。また、各議員がその他団体主催の研修等へ自主参加できるよう負担金等の予算を計上している。

(2) 他自治体との意見交換会等の実施

本村は尾瀬国立公園や日光国立公園への誘客等、他県近隣市村と関係しあう事業があることから、関連自治体市村議会との意見交換会や研修会を実施している。各事業や行政課題における各議会間での情報交換・共有を図り、連携強化や事業への反映につなげている。

(3) 行政課題に対応した行政視察の実施

各行政課題の対応を検討するため、総務文教常任委員会及び観光産業常任委員会の2つの委員会が先進地への行政視察を毎年実施しているところである。平成30年は移住定住政策や観光振興策、令和元年は自治体の地方創生への取り組みや鳥獣害防止対策、ジビエの活用など地方自治体に直面する課題に対する行政視察を実施している。また、令和元年9月定例議会において設置した議会改革特別委員会の行政視察を11月に実施し、先進自治体が住民に信頼される議会をめざして宣言した目標や取り組みの実施方法を視察した。

(事績2) 住民に開かれた議会

(1) 総務文教常任委員会及び観光産業常任委員会における管内視察の実施

片品村議会総務文教常任委員会及び観光産業常任委員会では各委員会の編成年に管内の公共施設や教育施設などの視察調査を行い、現場での課題や要望の把握に努めている。管内視察では村執行部や教育委員会も参加し、互いに情

報共有を図ることで、円滑な問題解決につなげている。

(2) 村内各行政区代表者との懇談会の実施

片品村議会では片品村内の8行政区代表者と各行政区の課題の対応や要望の把握を検討するため毎年議員全員と懇談会を実施している。懇談会には村執行部も参加し、互いに情報共有を図ることで、円滑な問題解決につなげている。また、今年度からは12月定例会会期中に各行政区の要望箇所の現地視察を実施予定である。

(3) 片品村立片品中学校生参加による中学生議会の実施

片品村の将来を担う中学生が議会の模擬体験を通じて、村民生活と行政との関わりや、村が直面するさまざまな課題について考えてもらうためや、平成28年の公職選挙法改正により選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことを受け、本村議会では議会の役割及び地方自治や民主主義の仕組み、さらには村の取り組みについて学習することを目的に中学生議会を実施している。平成28年11月に第1回議会を実施し、令和元年11月で4回目の実施となった。現在では、当村議会議員が地元中学生の意見や考えを直接聞くことができる貴重な場として大切な役割を果たしている。今後は更なる発展を目指し、内容や方法の再検討を実施していく考えである。

(4) 議会改革特別委員会の設置

片品村議会は令和元年12月定例議会において「議会改革特別委員会」設置の議員発議があり、「村民に開かれた議会」「政策の立案や提言を行う議会」「行政の監視及び評価を行う議会」を3つの柱として、これらの機能の充実を図ることを目的に設置した。この果たすべき役割と目的を達成するために、議論・討論を重ねて実現していく考えである。令和元年度の特別委員会の実績としては、議会基本条例の制定（反問権実施要綱、災害対策設置要綱も制定）及び定例議会動画（録画）のインターネット配信を3月定例議会から開始したことが主なものである。

(事績3) 地域活性化のため特別な取組みをした議会

(1) 災害発生時の災害対策室設置要綱及び災害時議員行動マニュアルの整備

近年、地震や台風、集中豪雨などの大規模災害が全国各地で発生している状況にある。令和2年度に発生した「令和2年7月豪雨」は、7月上旬から下旬にかけて九州を中心に記録的な大雨となり、82名の犠牲者を出すなど、広範囲で大きな被害に襲われ、本村でもいつ、そのような状況に見舞われるか心配しているところである。本村議会では令和元年度までは災害発生時の対応等について要綱やマニュアル等がなく、実際の災害時に戸惑う議員も少なくなかった。これらのことから、令和2年3月定例議会において議員発議で制定した片品村議会基本条例と同時に、片品村議会災害対策室設置要綱及び災害時議員行動マニュアルを整備した。

これにより今後は、議会としての行動基準が明確になり、災害時に村をバックアップできるような体制になった。

(2) 村内全世帯へのアンケート調査実施

片品村議会では、村民にわかりやすく、尚一層の開かれた議会づくりや、より良い議会運営に反映させるため、村内の全世帯1,500軒に対して配布数1,500枚のアンケート調査を令和2年7月から8月にかけて実施した。質問の項目は大きく分けて「議会に関すること」と「村づくりに関すること」の2項目で、細かい設問が13問の構成になっており、村民の方々が答えやすい内容になるよう議員全員で協議、検討した。有効回収数が645枚、有効回収率は43%であり、多くの村民の方々の意見を聞くことができた。また、設問の中に自由回答欄を設けたところ、数多くの意見や要望、提案をいただき、今後の議会運営や村づくりに大いに役立つもので、実施について意義があったことを感じた。

現在、回答内容の分析を行っており、結果報告を後日発行の議会広報でお知らせする予定で準備を進めている。